

つくば市議会提言書

令和6年10月1日 予算決算委員会

事業名	地域交流センター機能拡充事業
事業概要	地域交流センターにおいて、新たに地域の課題や要望等に関する相談受付や、より多くの市民が利用できる居場所づくりを進めることで、市民の利便性向上と地域コミュニティの拠点とすることを目指す。 ・ 地区相談センターの相談業務を全地域交流センターで実施する。 ・ 現場で地図確認等が容易に出来るようタブレット端末を導入する。 ・ 全地域交流センターに無料 Wi-Fi を設置する。 ・ 多世代が利用できる居場所づくりを進める。
提言内容	
市内 17 館全ての地域交流センターにおいて、無料 Wi-Fi と、市民からの地域相談窓口が設置され、事業が順調に進んでいることを評価する。 しかし、これらの機能を認識していない市民が多いことから、わかりやすく表示するなど、周知の工夫をすべきである。 相談窓口に配置されたタブレット端末は、本庁舎との連絡調整において、より一層使い方の工夫をし、活用していただきたい。 また、施設の機能に関しては、地域によって居場所の認識の隔たりや使い方の違いがあるため、地域にあったサービスの実施や、図書などの備品の充実を図っていくとともに、市民にとってより身近で、人と人との繋がりが持てる地域交流センターとなるよう、調査研究を重ねていただきたい。 また、平成 22 年度につくば市地域交流センター基本計画については、平成 27 年度に終了している。現在の地域交流センターは地域によってニーズも多様化しているため、現在の実態に合わせた基本方針や基本計画を新たに定めるよう検討していただきたい。	

予算決算委員会市民経済分科会

提言に対する対応

1 市民への周知については、無料 Wi-Fi の設置及び地域相談窓口の存在を市民により広く認識していただくため、わかりやすい表示を行うとともに、広報活動を強化していきます。

2 タブレット端末の活用については、相談窓口に配置されたタブレット端末の使用方法を工夫し、本庁舎との連絡調整において、さらに有効に活用できるよう、具体的な活用方法について検討していきます。

3 地域交流センターの機能については、地域特性に応じたサービスの実施や、備品の充実を進めていきます。また、市民にとってより身近で、人と人との繋がりが持てる場所となるよう、調査研究を重ねていきます。

4 地域交流センターについては、無料 Wi-Fi の設置、地域相談事業及び居場所事業などの新たな機能を拡充して、市民にとってより身近な拠点となるよう取り組んできました。今後も、多様な人々が集まる交流の場や居心地の良い場所であるよう、地域のニーズや機能に合わせた運営方針を作成していきます。

(以上 地域支援課)

提言に対する対応についての分科会所感・確認事項

全ての交流センターに飲食可能なスペースがあることについての周知などに努めていただきたい。特に TX 沿線地域の住民に向けての周知をお願いしたい。

タブレット端末の活用については、タブレットを活用したワンストップサービス、例えば、ビデオ通話による担当課との相談などが考えられるので、引き続き全庁挙げて取り組んでいただきたい。

地域交流センターの現状として、多くのセンターは「用事があるから行く場所」になっているため、用事がなくても立ち寄れる場所になるように、また、子育て中の世代が孤立せずに済む等、「地域」が「交流」する拠点となるよう期待する。

(市民経済分科会)

予算決算委員会市民経済分科会